

平成28年度 指定管理者施設管理評価シート

部 教育委員会事務局 課 児童保育課（放課後対策担当）

施設名称	〔43〕 東京都台東区立寿児童館					
指定管理者の名称	社会福祉法人台東区社会福祉事業団	指定期間	H27.4.1 ~ H32.3.31			
1. 指定管理者の概要						
(1)業務内容	台東区の児童及び高齢者福祉の充実による区民福祉の向上を図るため、児童館や高齢者福祉施設の管理・運営を行なう。					
(2)類似施設の管理実績	児童館 8 館、16 こどもクラブ					
(3)経営状況	（27年度決算ベース）〔社会福祉事業会計〕 収入2,816,804,521円， 支出2,832,987,406円， 収支差額-16,182,885円					
2. 施設の概要						
(1)所在地	台東区寿 1 - 4 - 5					
(2)設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とする。					
(3)利用者	区内在住の幼児から中学校終了までを主たる対象とする。					
(4)開館日・時間	月曜日から土曜日：午前9時30分～午後6時、日曜日（第二日曜日を除く）：午前9時30分～午後6時一部開放。 休館日 年末年始、祝祭日（5月5日は開放）					
(5)規模	RC地上3階地下2階建 倉庫・機械室・遊戯室・図書室・事務室・図工室・集会室等 寿こどもクラブ・寿第2こどもクラブ併設					
(6)人員体制	常勤職員3名、短時間職員3名、アルバイト等6名					
3. 事業（サービス提供）の概要						
(1)委託事業	児童の福祉を目的とする事業 児童館の利用を通して児童の情操の育成に資する事業 健全な遊びを通して児童の集団的及び個別指導を行なうこと その他、児童館の目的達成のために必要な事業					
(2)自主事業	自主事業は行っていない。					
4. 予算決算の推移						
		23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
予算	委託料	42,568,000	42,500,000	42,336,000	39,230,000	45,803,000
	利用料金収入	0	0	0	0	0
	その他収入	0	0	0	0	0
	管理経費	42,568,000	42,500,000	42,336,000	39,230,000	45,803,000
決算	委託料	35,546,742	42,437,314	38,031,576	38,677,769	42,645,954
	利用料金収入	0		0	0	0
	その他収入	0	10,000	651,334	21,650	10,650
	管理経費	35,546,742	42,447,314	38,682,910	38,699,419	42,656,604
	収支	0	0	0	0	0
5. 施設の稼働状況等（活動指標）						
指標名称	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	
開館日数	日	334	333	334	331	
6. 成果指標						
指標名称	単位	目標値 （29年度）	25年度	26年度	27年度	
利用者数	人	45,000	51,336	59,510	58,690	

7. 平成27年度評価結果に対する現在までの取組み				
<p>日常の遊びの中で、異年齢交流を働きかけて、継続した利用に繋げた。 乳幼児活動の充実を図り、保護者同士の繋がりを深める支援を行った。</p>				
8. 評価項目				
		3：協定等の水準を上回っている。 2：協定等の水準どおりである。 1：おおむね協定等の水準だが課題がある。	0：協定等の水準を下回っている。 -：評価対象外項目。	
評価の観点	評価項目			
(1)事業の運営 平均 [2.0]	(a)施設の目的達成 (b)サービス水準 (c)職員配置 (d)職員研修 (e)案内・接遇	[2] [2] [2] [2] [2]	(f)開館時間等の遵守 (g)自主事業の成果 (h)個人情報保護 (i)緊急時対応 (j)警備・防犯体制	[2] [-] [2] [2] [2]
(2)施設の維持管理 平均 [2.0]	(a)建物保守・設備機器点検 (b)備品の管理 (c)清掃・衛生管理 (d)施設の修繕	[2] [2] [2] [2]	(e)危険箇所等の確認 (f)管理記録の作成・保存 (g)業務委託の事前承認 (h)省エネ・省資源・環境配慮	[2] [2] [2] [2]
(3)利用者の満足度 平均 [2.0]	(a)利用者・第三者機関の評価 (b)苦情・要望への対応と報告 (c)利用者数等の目標達成	[2] [2] [2]	(d)利用しやすい環境整備 (e)関係団体・地域との関わり	[2] [2]
(4)収入支出 平均 [2.0]	(a)適正な予算執行 (b)管理経費の効率化	[2] [2]	(c)収支計画の達成 (d)利用料等の徴収・管理	[2] [2]
9. 評価				
S（水準以上）：協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。 A（適正）：協定等の水準を満たす管理が行われている。 B（一部課題あり）：協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。 C（課題あり）：協定等の水準を満たしているが、課題が複数ある。 D（水準未滿）：協定等の水準を満たしていない。				
評価の観点	評価	説明		
(1)事業の運営	A	定期的な避難訓練を行うことで、多くの利用者が訓練を体験し、スムーズな避難ができるようになった。また、防災意識を高める講話やクイズを取り入れ、防災意識の向上を図った。		
(2)施設の維持管理	A	日々の点検を行い、破損前に修繕をするな早めの対応を心掛けた。		
(3)利用者の満足度	A	環境整備により乳幼児親子の長時間滞在利用が増え、それにより自然と小学生と異年齢交流が図られるようになった。		
(4)収入支出	A	クールビズやウォームビズ、みどりのカーテンなどを実施し省エネに努めた。また、メールを多用し、FAXの使用回数を削減した。		
10. 総合評価				
良好 妥当 要努力 要改善 不適				
		妥当	世代別に利用しやすい環境整備を心掛け、日常的な利用者との信頼関係が図られたため、定着した利用となっている。	
11. 平成28年度評価結果に対する今後の対応				
<ul style="list-style-type: none"> ・小学校1年生の利用が少ないため、新学期に1年生向けのたよりを作成し、来館を促していく。 ・幼稚園児と小学生の時間で区切った住み分けにより、平日の午後も園児がゆっくと児童館で過ごせるようにする。 				